



Be a gift to the world  
世界へのプレゼントになろう

仙台南ロータリークラブ

週報

RI 会長 K.R. ラビンドラン  
D. 2520 ガバナー 菅原 裕典  
仙台南RC会長 板垣 努



例会場 仙台国際ホテル  
例会日 毎木曜日 12:30~13:30  
事務所 〒980-0021  
仙台市青葉区中央四丁目 6-1  
TEL. 223-3652 FAX. 223-3662

メールアドレス sendaisr@star.ocn.ne.jp  
会長 板垣 努  
副会長 星 毅 高木 信三  
幹事 山下 晴輝  
ロータリー 佐藤 博美 皆川 和輝 後藤 公伸  
情報委員会 熊谷 晴樹

2015-2016年度 (No.42) 第2869回 例会 (平成28年6月11日)

前回の報告・今週のお知らせ

本日の予定

6月11日 (土) (9日の振替例会)  
移動例会「指ヶ浜バーベキュー例会」

次週の予定

株式会社日本パトロール警備保障  
専務取締役 増子 弘 会員  
「警備業の概要」

出席率 会員数49名

5月19日 73.47%  
5月28日 65.31%  
6月2日 81.63% (6月10日現在)

予定

6月12日 第5回板垣努会長杯ゴルフコンペ  
6月16日 クラブアッセンブリー  
新旧理事会  
6月23日 三役退任挨拶  
ゴルフ同好会打ち合わせ及び納会  
6月30日 五大奉仕委員長退任挨拶

先週のビジター(6月2日) (敬称略)

なし

先週のゲスト(6月2日) (敬称略)

(株)武田染工場 代表取締役 武田和弘  
フリーアナウンサー 木村知子

お誕生日・結婚記念日おめでとうございます

(移動例会のため繰り上げ紹介済)

ニコニコボックス

佐藤 三生会員：しにせの染物屋さん 武田和弘様。今日はようこそおいで下さいました。お話を楽しみにしています。

遠藤 敏夫会員：スマイルボックス今年度予算達成！間もなくです。ご協力をお願い致します。

板垣 努会員：本日最終理事会となり、残すところあとひと月です。皆様のご協力に感謝致します。なお、先月末の総会で、仙台調停協会の会長に就任しましたので、ご報告申し上げます。県、東北地区、全国と色々な充職もあり、しばらくの間は、奉公を強いられそうです。

宮澤 雅隆会員：まずはニコニコです。

岩松 正記会員：タイガースファン歴60数年の父を交流戦につれて行きました。阪神が勝ったのでニコニコです。

熊谷 晴樹会員：本日の武田和弘さんの卓話楽しみです。

五十嵐 章会員：5月26日の拙宅での家庭集会には、お忙しい中、お集まり頂きましてありがとうございました。結婚祝の白松さん特製の甘いお菓子をありがとうございました。甘い刺激で忘れかけていた事を思い出しました。

秋濃 麗子会員：先日の植樹祭、お疲れ様でした。お天気の良い中、楽しく参加させて頂きました。日置会員の素敵なおあいさつにニコニコです。

高橋 健一会員：7月の決算に向けあわただしくなってきました。無事終わりますようにニコニコします。

松木 幸弘会員：野球部がレギュラーに女子部員3人を要して県大会突破、南東北大会に出場します。昨年同様全国大会に出場してほしいです。大半が中学時代不登校生だっただけにうれしい気持ちでニコニコです。

桑江 賢治会員：今月は米の利上げ？英の国民投票などイベント盛りだくさんです。ニコニコ。

## 先週の例会報告

### 伝統の染め物に新たな価値を

#### 株式会社武田染工場 代表取締役 武田和弘様

今からおよそ 300 年前の享保年間、伊達政宗が整備した染師町、広瀬川のほとりに、初代「市左衛門」が染め物屋を起したのが武田染工場の始まりです。

日々変わりゆく時代の中、職人の手をかけた昔ながらの染色法にこだわり、ひとつひとつ…本物ならではの素晴らしさを、ふるさと仙台の誇りと共に今に伝え続けています。

私は東京の大学を出て、東京の広告代理店に勤務しておりましたが、父親の余命宣告を受け、2011年夏に仙台へ戻りました。引き継ぎもままならない中、二ヶ月後に父は他界し、会社の代表を受け継ぐという大きな責任が自分に突然降りかかってきました。

それまでとは全く別の世界であり、戸惑いもありましたし、事実、その当時経営はおもわしくありませんでしたが、スタッフの協力もあり、新商品の開発などに取り組み、今では全国から多数のご注文を頂くまでとなりました。

城下町の文化に端を発し、長い間地元の神社や祭り、商店街といった地域の生活に支えられてきた染め物屋は時代の流れによって、今では希少な存在となっております。

また現在、染め物屋は関西方面に多く、東北以北においては、伝統染色を手掛ける染め物屋が数少なくなっていること、伝統が今改めて見直され若い時代や海外でも関心が高まっていることで、地元仙台はもちろん、全国幅広くご注文頂ける様になったのです。

武田染工場では染めから縫製まで全て行っております。

手ぬぐいと帆前掛けが商品の中心ですが、手ぬぐ

いは昔、かさばらない上に優れた吸収性や吸湿性が日本の蒸し暑い夏に合う生活必需品でした。

両端が切りっぱなしなのは、そこに水や汚れがたまらず、衛生的で、また、簡単に裂いて草履の鼻緒を直したり、けがの際の包帯に代用したりと現代の防災用品としても注目できる昔ながらの知恵を備えた万能品です。

また帆前掛けというのは、よく酒屋さんなどが身に着けている厚地の前掛けで、室町時代に猟師たちが壊れた帆船の布を腰に巻いて使ったことから由来していますが、生地風の合いや色の奥行きが魅力であり、長く使い続けることで程よく色が抜けて味わいが増し、使う人それぞれの生活に寄り添う世界にたった一つの愛着品となります。

そのほかトートバッグやポーチなど、新しいキャラクターとのコラボレーションも含めて、商品のバリエーションを今後どんどん増やしていきたいと考えております。

当日は、伝統ある染め物の作業工程や商品の説明などでこの古き良きものを、この仙台の地で作り続けている職人の熱い思いなど…もっともっと多くの皆様に知って頂けたら幸いです。

昔ながらの染め物の利点と知恵をその活用法も含め、現代のライフスタイルの中で新しい生活必需品としての新しい価値をご提案させて頂けたらと思います。



**6月ロータリーレポート 1\$=110円**

6月国際月間目標 「ロータリー親睦活動月間」